



専大校友を訪ねて

長島 剛さん

(昭63商)

多摩地域を元気にする 信金マン

専大時代は学食でアルバイト。長く専大で授業に出ている。「生田キャンパスにスバゲティ屋みたいな食堂がありました。授業の合間に働いて、食事は出る、交通費ももらえる。最高の条件でした。母校での初の出版は今年6月、商学部50周年記念の特殊講義「戦時中義一」は軍需産業が盛んで、機関銃を作る技術を転用してミシン製造が盛んになった」といって話を交わしながら、30市町村約420万人という多摩地

一人との出会いが出发点

地域の概況を説明。信用金庫と地域の結びつきを、豊富な事例で示した。

学生に説いたのは、志ある人がつながり、地域になくてはならないビジネスをつくりだす出会いの力。高尾山の人気土産になったかりんとうは、ソニー・ビジネス社、製菓会社、しゅうゆの蔵元の協力で生まれた。包装を福祉作業所が、在庫管理や配送をシルバートランシアが担う。その橋渡しにひと役買った。東京・北区の生家はネクターの生家。多くの金融マンが入り込んでいた。父親の「誰にもできない仕事を、替えのきかない人間になれ」という言葉を

往年の名歌手 上原敏をしのぶ



▲ 上原敏の写真をバックに矢野さん(左)と志生野さん

「妻恋道中」「流転」「裏町人生」などで戦前二世を風靡し、南洋のニューギニア戦線に散った。

た本学出身の歌手、上原敏(昭9経済)の追悼コンサートが10月17日、神田キ

- ### 校友会からのお知らせ
- ◇ 杉並支部総会 11月17日(火) 18時30分
 - ◇ 中越支部黒門会設立総会 11月23日(月・祝) 16時
 - ◇ 石巻専修大学内支部総会 12月4日(金) 18時30分



再会を喜ぶ

ホームカミングデー2015

雲一つない快晴に恵まれた11月3日、卒業生が集い「ホームカミングデー2015」が開催された。多くの校友が久しぶりの生田キャンパスを訪れ、往時を懐かしみながら、旧友や恩師との再会を喜んだ。

小宮多喜次校友会長、日高義博理事長、矢野建一学長、本多英夫校友会長によるテープカットで開会。メイン会場の9号館アトリウムでは、特別展「終戦70年記念展 専修大学と学徒出陣」をはじめ、パネル展などが催された。会場をCABINに移して開かれた懇親会にも、多くの校友が参加。旧交を温めるとともに、専修

「ニューズ専修」や卒業アルバムで往時を振り返る

10月7日に発足した第3次安倍改造内閣で、衆議院議員の馳浩氏(はせ・ひろし)昭59文)が文部科学大臣に就任した。石川県出身。当選6回。馳大臣は21日、神田キャンパスを訪れ、日高義博理事長や矢野建一学長らに就任を報告した。



馳氏が文科相に



法人に寄付の3校友に感謝状

教育施設整備の整備拡充と教育研究の充実のために、学校法人専修大学に多額の寄付をいただいた校友の高橋達雄さん(昭26経済)千葉稔いすみ市)、星嘉宏さん(昭41経済)福島県会津若松市)、磯崎眞助さん(昭和35商経)東京都東村山市)に、日高義博理事長から感謝状が贈られた。

募金局からのお願い

専修大学は、2019年に創立140年を迎えます。また、石巻専修大学も、18年に創立30年を迎えます。学校法人専修大学では、さらなる飛躍と発展を期すため「専修大学創立140年・石巻専修大学創立30年記念事業募金」(募集期間15年4月から5年間)を設けて、広く募集を行っております。

皆様方の温かいご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

寄付金のお申し込み、お問い合わせは「専修大学募金局」(☎03・3265・3157)へお願い申し上げます。



創立60周年祝う

校友会足立支部(上島嗣男支部長・昭52法)の創立60周年を記念する式典が10月25日、東京都足立区で催され、日高義博理事長、小宮多喜次校友会長(足立支部顧問)ら本学関係者、同支部会員約130人が出席して節目の年を祝った。式典で



叙勲受章者

◇ 瑞宝双光章 力丸達雄氏(昭48法) 危険業務従事者

諸岡良和氏(もろおか・よしかず)平9経営)米屋(株)の代表取締役社長に5月27日就任。本社・千葉県成田市。和洋菓子製造販売、流通事業。

- ◇ 鹿島グループ専大会総会 11月17日(火) 18時30分
- ◇ 沖繩県支部総会 11月26日(木) 18時30分
- ◇ 山梨県支部総会 11月28日(土) 18時

教育指導と

ハラスメントの境界線

授業時に学生の態度を注意したい息をつく、肩をすくめるなどで不都合があるが、ハラスメントにあたるので、必要に不快感を覚える行為であると認める。ハラスメントに該当するかどうかは、状況によって異なる。ハラスメントの加害者であるとして批判・処断される。

実際に、遅刻したことを叱責され逆にいえば、叱責のみでハラスメントであると判断されることはない。また、特定の学生を継続的に叱責し、メンタルを崩壊させた事例がある。その場合でも、その継続的な叱責に正当な理由がなく、不当に遅刻する、いつも私語がへんの妨害(私語がうるさく他の学生多し)などあれば、ハラスメントの邪魔になるなど)を許さない毅然とした態度で講義する場合には、感情的な発言で相手をはげしく責めたりせず、毅然とした態度で相手に反省を促すことが望ましい。の言葉でよい。

一般的には、他の大多数の受講者があることを付言しておきたい。特定の学生だけ(キャンパス・ハラスメント)を対象とした侮蔑的な言葉や態度(ため